

様式第1 (第3条関係) (表面)

設置：特定施設及び有害物質貯蔵指定施設を新たに設置しようとするときに、工事着手予定日の60日前までに必要な届出です。  
 使用：新たに特定施設が追加指定された際に、既に特定施設を設置しているときに、特定施設となった日から30日以内に届け出る必要があります。  
 変更：既に設置又は使用の届出をしている特定施設等について、その構造、設置場所等を変更したときに、変更工事着手予定日の60日前までに必要な届出です。

(記載例) 特定施設 (有害物質貯蔵指定施設) 設置~~(使用、変更)~~届出書

○年 ○月 ○日

提出する日付を記入します。

設置届出書の場合は【第5条】、使用届出書の場合は【第6条】、変更届出書の場合は【第7条】にあたるので、それ以外の部分を消してください。

届出者 ○○株式会社 代表取締役○○○○  
 ○○市○○町○○番地○  
 (電話番号 ○○-○○○○番)

水質汚濁防止法第5条第1項、~~第2項又は第3項(第6条第1項又は第2項、第7条)~~の規定により、特定施設 (有害物質貯蔵指定施設) について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		○○株式会社 △△工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		高松市○○町○○番地○	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類の	6 6 電気めっき施設	※施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	※審査結果	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。		
	△特定施設の設備 (有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。			
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類の			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

有害物質を使用している場合は、「有」にチェックをつけてください。

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input checked="" type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。	第5条第3項に基づく届出の場合は、該当するものにチェックをつけてください。	
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
  - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
  - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
  - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
  - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
  - 6 排水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
  - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
  - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	①	施設ごとに番号を付し、構造図を添付してください。
特定施設号番号及び名称	6 6 電気めっき施設	
型 式	〇〇社製〇〇型	鉄筋コンクリート製、鋼板製等の材質を記載してください。図面、カタログ等を添付してください。
構 造	材質：鉄製、内部を塩化ビニールライニング 構造図：別図〇のとおり	
主 要 寸 法	装置全体 1 m×10 m×1.5 m (各槽の寸法は別図〇のとおり)	
能 力	1000 L/槽×〇槽	
配 置	別図〇のとおり	
設 置 年 月 日	〇年 〇月 〇日	年 月 日
工事着手予定年月日	〇年 〇月 〇日	年 月 日
工事完成予定年月日	〇年 〇月 〇日	年 月 日
使用開始予定年月日	〇年 〇月 〇日	年 月 日
その他参考となるべき事項	有害物質として〇〇を使用する。 床面は厚さ100 mmのコンクリート 周囲には側溝を設け、流出防止。	有害物質使用特定施設に該当する場合は、施設の床面及び周囲の構造等を記載してください。 防波堤を設置する場合は、可能な限り、防波堤の容量を記載してください。

備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機

2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

有害物質を製造・使用・処理していない特定施設については、提出不要です。(備考1)

別紙1の2

特定施設の設備

工場又は事業場における施設番号	①	別紙1の施設番号と対応させてください。
特定施設番号及び名称	66 電気めっき施設	
設備	地上配管、排水溝、ためます	施設に付帯する配管、排水溝等の設備の名称を記載してください。
構造	配管：ステンレス製 排水溝、ためます： コンクリート製、厚さ50 mm	検知設備を有する場合にはその旨を記載してください。 配管が地下配管（トレンチ）の場合はトレンチの構造も記載してください。
主要寸法	配管：直径100 mm×30 m 排水溝： 幅300 mm×深さ200 mm×10 m ためます： 500 mm×500 mm×400 mm	地下に設置されている場合にはその旨を記載してください。
配置	別図〇のとおり	
設置年月日	○年 ○月 ○日	年 月 日
工事着手予定年月日	○年 ○月 ○日	年 月 日
工事完成予定年月日	○年 ○月 ○日	
使用開始予定年月日	○年 ○月 ○日	
その他参考となるべき事項	排水溝、ためますは有害物質が流れない。 これらの設備の管理は別添の点検表により行う。	有害物質を含む水が流れない設備（構造基準がかからない設備）がある場合は、その旨を記載してください。 管理要領（点検表）、点検頻度等の内容について、可能な限り添付してください。

備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。

2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	①			別紙1の施設番号と対応させてください。
特定施設号番号及び名称	66 電気めっき施設			
設置場所	別図〇のとおり			
操業の系統	研磨→エッチング→水洗→研磨→出荷			
使用時間間隔	8:30~17:30			
1日当たりの使用時間	9時間連続使用			
使用の季節的変動	なし			
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	種類	使用方法	一日当たりの使用量	有害物質使用特定施設において有害物質の製造、処理を行っている場合は、有害物質の種類を記載してください。
	無水クロム酸	水溶液	10 kg	
	硫酸	水溶液	1 L	
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	当該特定施設から排出される汚水等の水質と量を記載してください。 当該特定施設において製造、処理等を行っていない有害物質であっても、不純物として含まれており排水に含まれる可能性があるものは記載してください。 必要に応じて、項目を追加・削除してください。
	水素イオン濃度 (pH)	2~4	2~4	
	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	40	70	
	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	40	70	
	浮遊物質 (ss) (mg/L)	60	100	
	窒素含有量 (T-N) (mg/L)	20	50	
	りん含有量 (T-P) (mg/L)	10	20	
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (mg/L)	-	-	
	大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	-	-	
	全有機炭素 (TOC) (mg/L)	20	35	
	Cr <sup>6+</sup> (mg/L)	2	40	
汚水等の量 (m <sup>3</sup> /日)	通常	最大	有害物質使用特定施設において、使用している有害物質を原材料の欄に記載していない場合は、その他参考となるべき事項の欄に記載してください。	
	10	20		
その他参考となるべき事項				

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

汚水等の処理の方法

施設ごとに番号を付し、構造図を添付してください。

工場又は事業場における施設番号	②排水処理施設				③浄化槽				
処理施設の設置場所	別図〇のとおり				別図〇のとおり				
設置年月日	〇年 〇月 〇日				〇年 〇月 〇日				
工事着手予定年月日	〇年 〇月 〇日				〇年 〇月 〇日				
工事完成予定年月日	〇年 〇月 〇日				〇年 〇月 〇日				
使用開始予定年月日	〇年 〇月 〇日				〇年 〇月 〇日				
種類及び型式	〇〇社製〇〇型				〇〇社製〇〇型				
構造	材質：鋼製、内部を塩化ビニールライニング 構造：別図〇のとおり				FRP				
主要寸法	1 m×1.3 m×2 m (別図〇のとおり)				1.9 m×4.8 m×2.3 m (別図〇のとおり)				
能力	1.2 m <sup>3</sup> /時				40人槽				
処理の方式	pH調整・還元・凝集沈殿処理				活性汚泥法				
処理の系統	別図〇のとおり				別図〇のとおり				
集水及び導水の方法	別図〇のとおり				別図〇のとおり				
使用時間間隔	8:30~17:30				0:00~24:00				
1日当たりの使用時間	9時間連続使用				24時間連続使用				
使用の季節変動	なし				なし				
健康項目及び該当する有害物質に関する汚染状態及び量を記載してください。	日当たり量	中和剤：濃硫酸100 kg 凝集剤：PAC100 kg				次亜塩素酸ソーダ			
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	2~4	7~8	2~4	7~8	5~9	6~8	5~9	6~8
	BOD (mg/L)	40	40	70	40	150	10	200	15
	COD (mg/L)	40	40	70	40	180	15	250	20
	ss (mg/L)	60	60	60	60	-	-	-	-
	T-N (mg/L)	20	20	20	20	-	-	-	-
	T-P (mg/L)	10	10	10	10	-	-	-	-
	大腸菌群数(個/cm <sup>3</sup> )	-	-	-	-	-	1000	-	3000
	TOC (mg/L)	20	20	35	35	-	-	-	-
Cr <sup>6+</sup> (mg/L)	2	<0.02	40	0.05	-	-	-	-	
量(m <sup>3</sup> /日)	10	10	20	20	5	10	5	10	
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	脱水汚泥：20 kg/月 産廃業者へ処分委託				脱水汚泥：30 kg/月 産廃業者へ処分委託				
排出水の排出方法	No. 1排水口にて放流 (別図〇)				No. 2排水口にて放流 (別図〇)				
その他参考となるべき事項					排水口の位置図を添付してください。				

- 備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。
- 2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排水水の汚染状態及び量

排水口ごとに番号を付してください。

排水口から排出される水に関する汚染状態及び量を記載してください。

種別	項目	No. 1排水口 (製造工程排水口)		No. 2排水口 (生活系排水口)	
		通常	最大	通常	最大
排水水の汚染状態	pH	7~8	7~8	6~8	6~8
	BOD (mg/L)	40	40	10	15
	COD (mg/L)	40	40	15	20
	ss (mg/L)	60	60	-	-
	T-N (mg/L)	20	20	-	-
	T-P (mg/L)	10	10	-	-
	大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	-	-	1000	3000
	TOC (mg/L)	<0.02	0.05	-	-
	Cr <sup>6+</sup> (mg/L)	0.1	0.6	-	-
排水水の量 (m <sup>3</sup> /日)	通常	10	20	5	10
	最大				
その他参考となるべき事項	No. 3排水口は雨水専用排水口				

その他の必要事項について記載してください。

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

指定項目ごとに作成してください。(備考1)

通常の汚濁負荷量  
 (通常の汚染状態) × (通常の水量)  
 最大の汚濁負荷量  
 (通常の汚染状態) × (最大の水量)

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

		指定項目の別		COD					※	
業種 その他の区分	汚染状態 (mg/l)	水 量 (m <sup>3</sup> /日)						汚濁負荷量 (kg/日)		
		通常	最大	通常	最大	Qco	Qci	Qcj	通常	
特定排水水	201 電気めつき業	40	40	10	20			20	0.4	0.8
	232(7) 浄化槽	15	20	5	10			10	0.075	0.15
	合 計	-	-	15	30			30	0.475	0.95
特定排水水以外の排水水	種類及び用途	汚染状態 (mg/l)		水 量		汚濁負荷量				
		通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常
	合 計									
その他の参考事項										

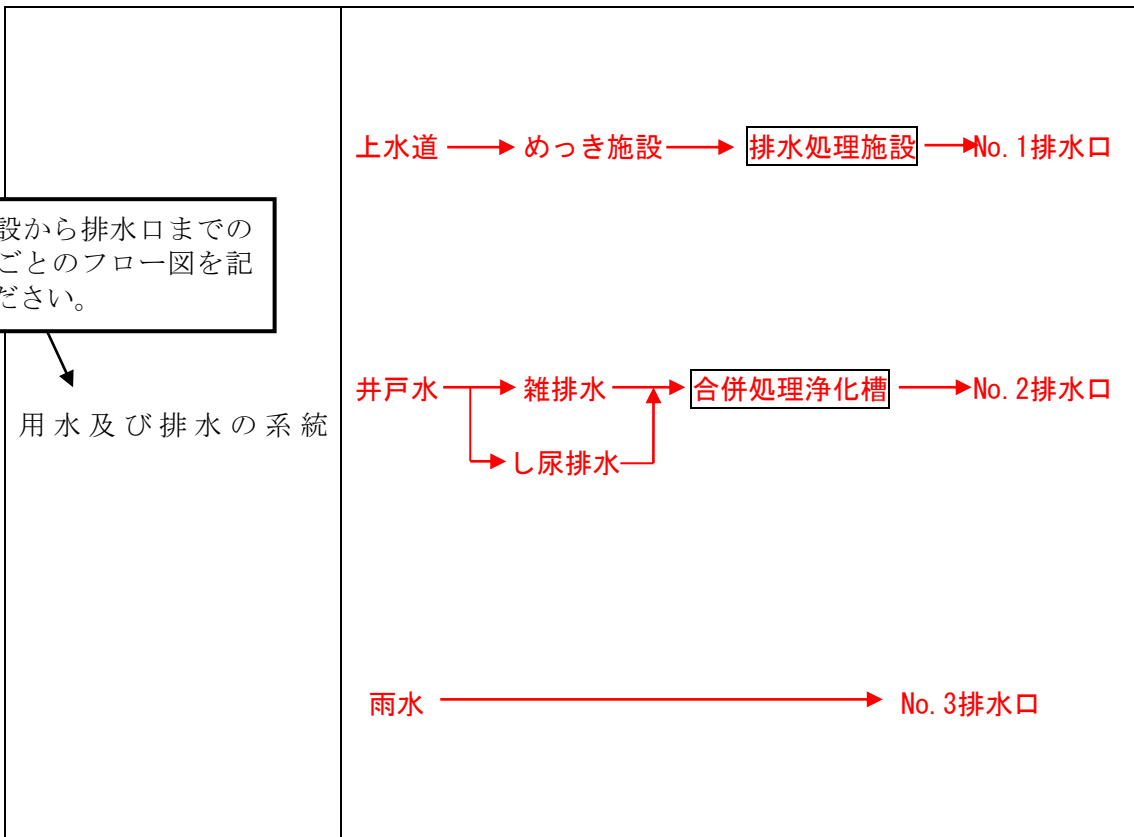
県告示による区分及びQco、Qci、Qcjの値を記載してください。

関節冷却水などの汚れていない水について記載してください。なお、雨水については記載不要です。

- 備考
- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
  - 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
  - 3 窒素含有量について記載する場合には、「Qco」を「Qno」と、「Qci」を「Qni」と読み替え、Qcjの項には記載しないこと。
  - 4 リン含有量について記載する場合には、「Qco」を「Qpo」と、「Qci」を「Qpi」と読み替え、Qcjの項には記載しないこと。
  - 5 ※印の欄には記載しないこと。

用水及び排水の系統

特定施設から排水口までの排水系統ごとのフロー図を記載してください。



用途別用水量	用 途	使 用 水	用水量(m <sup>3</sup> /日)
		製造工程用水	水道水
	生活用水	井戸水	5~10

通常の水量~最大の水量を記載してください。

## 有害物質使用特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号		
特定施設番号及び名称		
型 式		
構 造		
主 要 寸 法		
能 力		
配 置		
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

有害物質使用特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号					
特定施設番号及び名称					
設置場所					
操業の系統					
使用時間間隔					
1日当たりの使用時間					
使用の季節的変動					
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量					
汚水等の汚染状態	種類	通常	最大	通常	最大
汚水等の量 (m <sup>3</sup> /日)		通常	最大	通常	最大
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、有害物質による汚染状態について記載すること。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号									
処理施設の設置場所									
設置年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
工事着手予定年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
工事完成予定年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
使用開始予定年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
種類及び型式									
構造									
主要寸法									
能力									
処理の方式									
処理の系統									
集水及び導水の方法									
使用時間間隔									
1日当たりの使用時間									
使用の季節変動									
消耗資材の1日当たりの用途別使用量									
汚水等の汚染状態及び量	種類	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	量(m <sup>3</sup> /日)								
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法									
その他参考となるべき事項									

備考 汚水等の汚染状態の欄には、有害物質による汚染状態について記載すること。

特定地下浸透水の浸透の方法

浸透施設の位置									
浸透施設の数									
浸透 水	工場又は事業場における施設番号								
	量(m <sup>3</sup> /日)	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
その他参考となるべき事項									

特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統

<p>用水及び排水の系統</p>			
<p>用途別用水量</p>	<p>用 途</p>	<p>使 用 水</p>	<p>用水量(m<sup>3</sup>/日)</p>

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の構造

工場又は事業場における施設番号	1	施設ごとに番号を付し、構造図を添付してください。
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質貯蔵指定施設	
型 式	貯蔵タンク (〇〇社製△△)	
構 造	ステンレス製 (構造図は別図〇のとおり)	
主 要 寸 法	直径 1500 mm×6000 mm 2基	
能 力	貯蔵量 各10000 L	
配 置	別図〇のとおり	地下に設置されている場合はその旨を記載してください。
床 面 及 び 周 囲	床面は厚さ100 mmのコンクリートで、エポキシ樹脂で被覆。 周囲には防液堤を設け、流出を防止（貯留量〇m <sup>3</sup> ） (別図〇のとおり)	防波堤等について、可能な限り容量を記載してください。
設 置 年 月 日	〇年 〇月 〇日	年 月 日
工 事 着 手 予 定 年 月 日	〇年 〇月 〇日	年 月 日
工 事 完 成 予 定 年 月 日	〇年 〇月 〇日	年 月 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日	〇年 〇月 〇日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の設備

工場又は事業場における施設番号	1	別紙 12 の施設番号と対応させてください。
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質貯蔵指定施設	
設備	地上配管、バルブ、フランジ	施設に付帯する配管、排水溝等の設備の名称を記載してください。
構造	ステンレス製 (別図○のとおり)	配管が地下配管（トレンチ）などの場合には、トレンチの構造についても記載してください。 検知設備を有する場合にはその旨を記載してください。
主要寸法	地上配管：直径2 m×50 m バルブ：2カ所 フランジ：3カ所	
配置	別図○のとおり	
設置年月日	○年 ○月 ○日	年 月 日
工事着手予定年月日	○年 ○月 ○日	年 月 日
工事完成予定年月日	○年 ○月 ○日	年 月 日
使用開始予定年月日	○年 ○月 ○日	年 月 日
その他参考となるべき事項	これらの設備の管理は別添の点検表により行う。	施設に付帯する設備がない等、有害物質を含む水が流れない場合（構造基準がかからない場合）には、その旨を記載してください。 管理要領（点検表）、点検頻度等の内容について、可能な限り添付してください。

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備の配置を記載すること。

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	1	別紙 12 の施設番号と対応させてください。
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質貯蔵指定施設	
設置場所	別図○のとおり	
操業の系統	○○反応施設にベンゼンを供給	
使用時間間隔	1週間に1回	
1日当たりの使用時間	1時間/回	
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量（有害物質使用特定施設の場合に限る。）		
貯蔵する有害物質の種類（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）	ベンゼン（○～○%）	
その他参考となるべき事項	これらの設備の管理は別添の点検表により行う。	管理要領（点検表）、点検頻度等の内容について、可能な限り、添付してください。

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、使用時間間隔の欄及び1日当たりの使用時間の欄には、それぞれ当該施設への有害物質を含む水の供給時における当該施設の使用時間間隔及び使用時間を記載すること。

用水及び排水の系統（搬入及び搬出の系統）

<p>施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統（有害物質使用特定施設の場合に限る。）又は貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）</p>			
	用途別用水量	用途	使用水
	作業用水	60	100
	製品	40	60
	冷却水	5000	6000
	雑用水	100	300
	計	5200	6460

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、用途別用水量の欄には記載しないこと。